

阿波市立土成中学校



1 学校の概要

- ① 生徒数 233名
- ② 校訓 「自律」「親和」「勤労」
めざす生徒像

- ・夢に向けて仲間とともに、ねばり強く歩みつづける生徒
- ・豊かな感性と人権感覚を持ち、自他の命や人権を大切にできる生徒
- ・基本的な生活習慣を確立し社会の一員として自覚を持った心身ともに健やかな生徒
- ・互いの「ちがい」を認め合い、支え合いながら活動できる心豊かな生徒

③ 環境目標・テーマ

学校生活の中で、身近な環境について考え、環境を守るための実践を通して、地域の豊かな自然を守る心を育てる。

- 資源（水・電気）の節約に努めます。
- 資源（紙・プルタブ等）の再利用に努めます。
- 地域の環境美化に努めます。

2 行動方針

- ① 学校における節電、節水に努めます。
- ② 学校におけるゴミの分別に努めます。
- ③ 学校におけるリサイクル活動を行います。
- ④ 節電、節水を呼びかけるシールを作成します。
- ⑤ ペットボトルのキャップやプルタブを回収します。
- ⑥ 学校周辺の緑化に取り組みます。

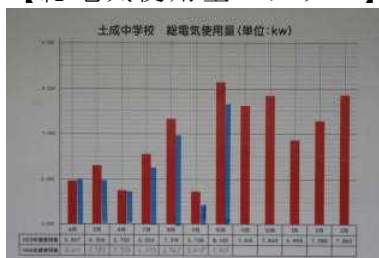
3 行動

- ① 『新 学校版環境 I S O』の取り組みを広める。

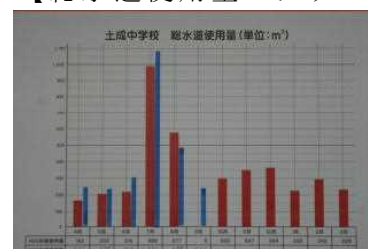
【 I S O コーナー】



【総電気使用量のグラフ】



【総水道使用量のグラフ】



職員室前に I S O のコーナーをつくり、 I S O の目標やテーマを知らせるとともに、生徒会専門委員会ごとの取り組みを掲示することで、役割分担を明確にする。また、前年度と今年度の毎月の総電気使用量と総水道使用量をグラフ化することで、節電・節水の意識付けにつなげる。

② 節電・節水の意識を高める。



整備環境委員会が、電灯のスイッチや洋式トイレの操作盤に節電を呼びかけるシールを、水道には節水を呼びかけるシールを貼ることで、節電や節水の意識の向上を図っている。

③ ペットボトルのキャップやプルタブの回収を通して。

【キャップ等回収コーナー】

【ゴミの分別収集場所】

【分別収集場所を教室に明示】



ゴミの分別に協力してください。	
段ボール	南館1階西階段下
古紙	
ビン	職員室ベランダ
ペットボトル	
空き缶	

人権ボランティア委員会では全校生徒に呼びかけるとともに各家庭のご協力を得ながら、ペットボトルのキャップとプルタブの回収に取り組んでいる。また、ゴミの分別収集を行う事で、紙やガラス、空き缶、ペットボトルのリサイクルについても取り組んでいる。

④ 緑を守る心を育てるために。



緑化推進委員会では、花壇やプランターに花を植えたり、毎日の水やり当番の活動を通して、緑を育てる大変さや緑の大切さを学んでいる。夏休みには保護者も参加して、校内の環境整備のために樹木の剪定や除草作業を行っている。

4 具体的効果

- ◆ I S Oのコーナーを職員室前に設け、目標等を明示することで各委員会ごとの取り組みを明確にすることができ、積極的な取り組みにつなげることができた。また、総電気使用量、総水道使用量をグラフ化して掲示することは節電や節水に取り組んだ成果を可視化することができ、生徒の意識の向上につなげられた。

5 改善点

- ◆ 学年通信やホームページ等を利用して生徒たちの活動の様子を伝えることで、環境I S Oの目的や取り組みを保護者や地域に広め、共に取り組めるように努める。